

令和 8 年度 第 1 回 四條畷市下水道事業経営審議会
＜会議録＞

開催概要		
■日 時	令和 8 年 9 月 18 日（金）10:00～12:00	
■場 所	四條畷市役所本館 3 階 委員会室	
■出席者	審議会委員	川原尚子委員、熊谷樹一郎委員、奥田善朗委員、久保田素子委員、中田善規委員、岡田美紀委員、歌門敬子委員（欠席）
	事 務 局	四條畷市 錢谷市長 四條畷市都市整備部 足立部長、北田次長 下水道河川課 森本課長、永山課長代理兼主任、西村主任、山田副主幹、井上
■傍聴者	1 名 / 定員 10 名	
■議 題	・ 1 開 会 ・ 2 市長あいさつ ・ 3 委員紹介 ・ 4 審議会の会長及び副会長の互選 ・ 5 諮問について ・ 6 議 事 （1）下水道事業について （2）下水道事業会計について （3）令和 7 年度決算状況について ・ 7 閉 会	
■資 料	・ 次第 ・ 資料 1 四條畷市下水道事業経営審議会名簿 ・ 資料 2 四條畷市下水道事業経営審議会条例 ・ 資料 3 四條畷市下水道事業経営審議会規則 ・ 資料 4 四條畷市下水道事業経営審議会の会議の傍聴要領 ・ 資料 5 下水道事業について ・ 資料 6 下水道事業会計について ・ 資料 7 令和 7 年度決算状況について	

議事詳細	
1 開 会	
事務局(司会)	今回の審議会につきましては、傍聴者が 1 名おられましたので入場していただきます。 それでは、次第に基づきまして会議を進めて参ります。
2 市長あいさつ	
事務局（司会）	審議会の開催にあたり、市長よりご挨拶させていただきます。

市長	皆様おはようございます。 改めまして四條畷市長の錢谷翔です。 本日のこの令和 8 年の第 1 回四條畷市下水道事業経営審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。 委員の皆様におかれましては公私何かと大変お忙しい中にも関わりませず、本日もご出席を賜り、厚く御礼を申し上げます。 また、この度は四條畷市下水道事業経営審議会の委員をご快諾いただきまして、重ねて感謝を申し上げます。 ありがとうございます。 さて、本市の下水道事業につきましては、これまで計画的に整備を進めて参りました結果、現在、下水道普及率は約 99%以上という形になっておりまして、市民の皆様のインフラを支え、市民の生活を支えている重要な基盤が整っているという状況でございます。 一方で、事業推進に伴う多額の企業債を発行しておりまして、こちらの償還の支出が大変大きな割合を占めているといった状況の他、昨今の物価高騰やこういった煽り、或いは維持管理費用の増加、さらには今後の人口減少に伴います使用料収入の減少など、下水道事業を取り巻く経営環境は大変厳しい状況にあります。 このような中ですが、前回の審議会におきましては、安定した持続可能な下水道事業の継続に向けて、大変ご活発なご議論をいただきました。 特に現在の使用料水準を維持した場合に、収支の均衡が図れず、経費回収率の悪化が見込まれることから、令和 10 年度までに使用料の改定の必要があるという貴重なご意見をいただきました。 また、その検討に当たりましては、人口減少や物価高騰といった経営を取り巻く環境を的確に把握し、慎重かつ多角的に進めていくべきものであるというご指摘もちょうだいいたしました。 本日は、これまでの歩みと前回までのご議論を改めて共有するとともに、今後の本格的な審議に向けた土台を整えていく機会といたしたいと考えてございます。 市民の大切なライフラインであります下水道事業を、将来にわたって安定的に引き継いでいくために、委員の皆様それぞれのお立場から、忌憚のないご意見やご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 結びとなりますが、本日の会議が大変実りある時間となりますことをご祈念申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。 どうぞよろしくお願い申し上げます。
3 委員紹介	
事務局（司会）	続きまして、次第 3「委員紹介」でございます。 配付しております資料 1、名簿の順に従い、委員区分別に 50 音順でご紹介いたしますので、お願いいたします。

	はじめに、四條畷市下水道事業経営審議会条例第4条第1項第1号の学識経験を有する方の区分から、近畿大学経営学部教授、川原尚子委員でございます。 続きまして、同じく摂南大学理工学部教授、熊谷樹一郎委員でございます。 次に、第2号の企業経営に関する専門的知識を有する方の区分から、公認会計士、奥田善朗委員でございます。 同じく税理士、久保田素子委員でございます。 次に、第3号の各種団体を代表する方の区分から、四條畷市商工会副会長、中田善規委員でございます。 次、第4号の、四條畷市の公共下水道の使用者の区分から、一般公募の岡田美紀委員でございます。 同じく一般公募として、歌門敬子委員がおられますが、本日は所要のためご欠席されておられます。 次に、本市職員及び事務局を紹介いたします。 都市整備部長、足立でございます。 都市整備部次長、北田でございます。 都市整備部下水道河川課長、森本でございます。 下水道河川課課長代理兼主任、永山でございます。 下水道河川課副主幹、山田でございます。 下水道河川課、井上でございます。 最後に私、下水道河川課主任、西村でございます。 よろしくお願いします。
4 審議会の会長及び副会長の互選	
事務局（司会）	続きまして次第4「審議会会長及び副会長の互選」でございます。 審議会規則第2条第1項で、審議会に会長及び副会長1人置き、委員の互選によりこれを定めとなっておりますので、会長及び副会長の選出に当たりまして、自薦または他薦の方法でご推挙ございますでしょうか。
委員	私の方から推薦させていただいてよろしいでしょうか。 引き続き、会長には、川原委員を、副会長には熊谷委員を、お願いしたいと思います。
事務局（司会）	ただいま、●●委員より会長を川原委員、副会長を熊谷委員にご就任いただくというご推薦がございましたが、他にどなたかご意見はございますでしょうか。
各委員	<意見なし>
事務局（司会）	他にご意見がないようですので、会長には川原委員、副会長には熊谷委員にご就任をお願いしたいと思います。

	川原委員にお伺いします、会長にご就任いただくことにご了承いただけますでしょうか。
川原委員	皆様方のご承認を得てお受けしたいと思います。
事務局（司会）	ありがとうございます。 熊谷委員にお伺いします。 副会長にご就任いただくことにご了承いただけますでしょうか。
熊谷委員	皆様のご承認を得てお受けしたいと思います。
事務局（司会）	ありがとうございます。 それでは川原委員が本審議会の会長に、熊谷委員が副会長にそれぞれご就任いただくことについて、皆様の拍手でご承認に代えさせていただきたいと思います。
各委員	<拍手>
事務局（司会）	ただいま拍手でもって、会長、副会長が承認されました。 それでは川原委員、熊谷委員、恐れ入りますが前の方の会長席、副会長席にお移りいただきますようお願いいたします。 川原会長、熊谷副会長にご就任のご挨拶をお願いしたいと思います。川原会長、よろしくお願いいたします。
川原会長	下水道事業経営審議会会長ということで、令和6年度から2年務めさせていただきました。 非常に重責でございますが、これまでの経験を生かし、審議会のため頑張っ て参りたいと存じます。 つきましては、皆様のご協力、ご指導を受けて、よい審議会にしたいと存じます ので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
事務局（司会）	ありがとうございます。 次に熊谷副会長よろしくお願いいたします。
熊谷副会長	私も前2年務めさせていただきました。 改めて大役を引き受けさせていただきます。 川原会長の力になれるように精一杯務めさせていただきます。 どうぞよろしくお願いいたします。
事務局（司会）	ありがとうございます。

	今後とも、お二人ともよろしくお願い申し上げます。
5 諮問について	
事務局（司会）	続きまして次第5「諮問について」でございます。市長より審議会に対し諮問事項の記載された諮問書をお渡しさせていただきます。 それでは錢谷市長、諮問書を朗読後、会長に諮問書をお渡しいただきますようお願いいたします。
市長	四條畷市下水道事業経営審議会会長様。 四條畷市長、錢谷翔、諮問書。 四條畷市下水道事業経営審議会条例第2条の規定に基づき、下記事項について諮問をいたします。 記1、諮問事項、下水道使用料の改定について、どうぞよろしくお願いいたします。
事務局（司会）	ありがとうございました。 先ほどの諮問書につきましては、複写を行ったものをこれより各委員の皆様にお配りさせていただきますのでご確認ください。 それではこれよりご審議をお願い申し上げたいと存じますが、四條畷市下水道事業経営審議会、規則第3条第1項の規定により、会長がその議長となっております。 したがいましてこれより会長に議事の進行をお願いしたいと思いますので、川原会長よろしくお願いいたします。
6 議 事（1）下水道事業について	
川原会長	それでは早速ですが、議事に入りたいと思います。 議事（1）の下水道事業についてですが、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<「資料5 下水道事業について」を説明>
川原会長	ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご質問やご意見はございませんか。
委員	素朴な疑問なんですけども、8ページなんですけど、合流式と分流式っていうふうになってます。 分流式っていうのは私の理解だと、わけて排出するので機能が低い、合流式っていうのは家庭からの雨水と合わさっているんで、処理の水量が多いと思うんですけど、どうして山側が先に分流式になってるのか、合流式はどうしても低い土地だと、水につきやすいリスクがあるのに、なぜ先に分流式にしていかなかったのか。

事務局	すいません素朴な疑問で申し訳ありません。 ご質問に対して回答させていただきます。 合流式と分流式の違いついていうのは、先ほど説明させていただいた通りになるんですが、どうしてここで分かれているかというようなことを疑問に思われたかと思います。 この見る限りでは標高なんていうのがわかんないんですが、ちょうど合流式と分流式の境目、青線と赤線なっていますかね、その線になるんですけど、そこから右手側ですね、が山間部に入っていきます。 要は傾斜がありまして、標高が高くなっていきます。 合流式の方は、そこから低い方になるんですけど、この辺りにある河川ですね。 いろいろ複数の川があるんですが、ほとんどが天井川になります。 この区域、この合流式の区域に降った雨水といいますのは、自然にこの付近で一番大きいのは寝屋川という 1 級河川があるんですけど、天井川なので、自然に流れていかないような地域、地区ですね、になります。 ですので、合流式は自然に川に排水しづらい区域なので、下水道で雨水を集める。 という役目を持っております。 それを果たせるために合流式っていう整備方法をとっております。 分流式は、そこから高くなるんで天井川じゃなくなっています。 自然に分流式に降った雨水は河川に入る。 自然に川に入るので、あえてですね、下水道に入れることはありませんので、汚水は下水道へ雨水は河川へ、それを流せるように分流式という整備方法とっているということ。
川原会長	ありがとうございます。 この点につきまして他に何か追加でご質問などございませんでしょうか。 それでは、他のご質問ございましたら、ご意見ございましたらお願いいたします。 ●●委員さんいかがですか。
委員	ちょっと確認なんですけど、P18 ページと 19 ページの表があると思うんですけど、このうちの使用料とかですけど、23 位から 43 位のところの使用料が、例えば和泉市とかやったら、2,420 円と 2,530 円と数字が違うんですけどこの辺はどっちが正しいのかとかその辺の理由を教えていただきたいなと思ったんですけど。
事務局	すいません事務局より回答させていただきます。 ご指摘の件なんですけれども、基本的には同じ条件の月あたりですね一般

委員	家庭の使用料である 20 立米の税込みを上げさせていただいて同じ時点のもので、すいませんちょっとどちらかが誤っております。 この後ですね正しい方にまた改定をさせていただいて差し替えさせていただきたいと思います。 ご指摘ありがとうございます。 あともう 1 点だけなんですけど、意味があるのかわからないですけど、例えば 19 ページの表で改定率 30%を超える自治体の方ちょっと色塗られていると思うんですけど、色塗られた理由と 30%を基準にされた理由をちょっと教えていただきたいんですけど。
事務局	ご意見ありがとうございます。 こちらにつきましても、前回こちらの審議会の方で仮にということで料金の算定なんかを、もし今後、下水道のこの事業会計の各種経営手法を満たした料金をしていくには、どれぐらいの改定率がいるかというところで仮でシミュレーションさせていただいたときに、18%っていう、2 年度前という状況になるんですけども、その時に出させていただいた見込みと比較しまして、それよりも相当数、挙げられてるとはちょっと感覚的なところではあるんですけども、一定現状といいますかこれぐらいの大きな負担を求めている団体があるんだよというところでちょっと着色をさせていただいてるところです。
委員	ありがとうございます。
川原会長	ありがとうございます。 他にご意見、ご質問いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。 ないようでありましたら、議事 (1) の下水道事業についての審議は終わります。
6 議 事 (2) 下水道事業会計について	
川原会長	続きまして議事 (2) 下水道事業会計についてですが、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<「資料 6 下水道事業会計について」を説明>
川原会長	ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご質問やご意見はございませんか。
委員	この発信しますっていう下水道経営っていう冊子なんですけども、広報が毎

	月 15 日以降に四條畷から配られるんですが、それに多分入っていた、今年に入ってから入っていたと思うんです。 周りの皆さんにこれ見てくれたとか、地域、お友達とか地域なんですけどもね私が聞ける範囲っていうのは、皆さんに確認したんですけど、あまり印象薄かったんです。 申し訳ありません。 入っていたっけとか、やっぱり数字とかがあったら、主婦なんかは難しいんですよ。 だからどのように、皆さんに伝えていけばいいのか私もそこで悩んだんですが、あんまり印象なかったようで申し訳ありませんでした。 以上です。
川原会長	ありがとうございます。 この辺り、企業経営に関する専門的知識を有する委員の方々からいかがでしょうか。 下水道事業経営のこのパンフレット、非常によくできていると思う反面ですね、やっぱり市民の方に見ていただくというようなことも、ありますので。
委員	私も四條畷で仕事してまして、四條畷の方からお話を聞くことがあるんですけど、これ入っていたこと知りませんでした。 すいません。 やっぱり印象薄かったんだと思うんです。 今見せてもらったら、くっすんとか入れてすごいかわいいんですけど、あっ、と思うんですけど、やっぱり中身、あれ難しいってなると思うんですね。 だからなんか赤字であることは伝えないといけないと思うんですけど、それはさらっと赤字なんですっていうことを伝えて、だから、値上げするまでは書かなくても、今後見直していかないといけないんですっていうようなことをもうちょっと押したらよかったのかなと思いました。 すいません、意見です。
川原会長	ありがとうございます。
委員	意見がですね、ちょっと言い方悪いかもしれないですけど、もうちょっと数字、例えば令和 6 年度の経営成績とかこの数字をもっと少なくしたほうがよかったのかなと。 文字はあんまり多くても、逆に良くないんですけど、ちょっと数字が多すぎて専門用語が多過ぎるなっていう気がして、多分専門用語をちょっとなかなか理解ができない可能性もあるので、ちょっとその辺一番最後のページとか特に綺麗にちゃんと書かれてはるんですけど、わかりやすく作ってはるんですけど、一般の方が見られたときに多分これ、専門用語がなかなか理解できない部

川原会長	分もあると思いますんで、その辺をもうちょっと数字を少なくて専門用語も少なくして、作られたほうがよかったのかなというふうな気はいたしました。 ありがとうございます。 貴重なご意見をちょうだいいたしました。 その他に何かお気づきの点をご意見などございませんでしょうか。
委員	私はこっちの最初のページですね、これはすごくわかりやすくよかったのかなと。 ですから、こういう口調というか感じでやっていかれる方が先ほど数字のお話をされていましたが、これはすごくわかりやすくよかったということだけお伝えしておきたいなと思っております。
川原会長	ありがとうございます。 他にご質問、ご意見ございませんでしょうか。 いかがですか。
熊谷副会長	私、企業専門ではないんですけど、先ほどちょっと●●委員がおっしゃっていたこの最初のページのやつは実生活に置き換えた絵になってますんで非常にわかりやすいなと私も思うんですけど、この状態で、その中の話を説明されるといいのかな。 これ多分中の2、3は割とこの審議会でやっている資料、ある意味、展開されているんですよ。 そういう意味で嘘がないって意味では安心な内容なんですけども、何か思い切ってこう簡単にしていかないと伝わるものも伝わらない可能性があるかなというような、そんな印象を持ちました。
川原会長	ありがとうございます。 他にございませんでしょうか。 何かご質問ご意見ございましたらお願いします。 事務局の方から、お願いします。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。 下水道事業に限りませんで、広報紙であつたりとか折り込みチラシ、市の方としてはいろいろ情報をお伝えしたくて掲載はするんですけどもやっぱりなかなか見ていただけないであつたりとか、わからないというご意見というものをこの事業にかかわらずですね、たくさんいただいているところです。 今いただいた貴重なご意見は真摯に受けとめまして、今年度、前回は初めて下水道事業として情報を出していくというところで、いろんな情報をちょっと盛り込んだり、基本的なところからまずおさらいしていただければというところ

川原会長	ろで、ちょっと記載の方が混んでしまったというかそういった面もあったかと思いますが、ご意見踏まえまして、もう少し簡潔な形で、わかりやすくお伝えしたいことが、すぐ見る方にとって理解いただけるような、そういった紙面にしたいなと考えておりまして、令和8年度もその機会ございますので、ぜひともですねタイミングにもよるんですけども、案というような形でお示してきたら、何か直接そちらに対してご意見なんかをいただく、そういった機会も設けさせていただければなと考えておりますので、その際には、具体的なものを見ながらご指摘をいただけたらと思います。 よろしく願いいたします。 ありがとうございます。 私、意見というよりは感想に近いことなんですけども、昨今陥没事故もそうですね、異常な気象のもとですね、洪水というようなことも多々ある中でですね、市民の皆さんの関心は、以前よりも高まりつつあるだろうと、いうことも思われますので、引き続き、広報というようなことにも留意していただけたらよろしく願いしたいなと思う次第でございます。 他にご質問ご意見ございませんでしょうか。 ないようであれば、議事（2）の「下水道事業会計について」の審議を終わります。
6 議 事（3） 令和7年度決算状況について	
川原会長	続きまして記事（3）の令和7年度決算状況について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	＜「資料7 令和7年度決算状況について」を説明＞
川原会長	ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご質問やご意見はございませんでしょうか。 それでは私の方から意見ということで、スライド13ページで、令和8年度の予算についても、丁寧にご説明をいただきましてありがとうございます。 他市でもその予算でマイナス、赤字予算ということはないこともない、しかしながら今回四條畷市においては、初めての赤字予算を組まざるをえない状況があった、というご説明だったかと思います。 その内訳についてもどういう影響でこういうことを予想されているかと、こういう予算を組まざるをえなかったかという、詳細なご説明ありましたんですけども、なかなかそのイレギュラーなちょっと変わったところとしましてはこれ、確かに赤字だということと、もう1つの令和8年度予算でこういう点があるかと思います。 特別利益のところに最初から11という金額をあえて設定されて、通常であればそういう特別なことを最初から予想するということはないかもしれません

	けれども、なかなかちょっと会計の処理としても難しいことかと思うのですが、この辺りはやはり令和7年度までの流域の維持管理負担金、一旦支出をするんだけど、後で戻ってきた。 しかもそれが最初に負担金に対して何%戻ってくるとか、どれだけ返ってくるとか、いうことが確約されていることでもなく、非常に不確定なものであるということも、今回のご説明でよく理解をできた次第であります。 ですので、それも関係があつてこういう特別利益のところですね、金額を入れざるをえないような、そういう面では不確実性がある、予算になっているということが理解できたかなと思っております。 委員の皆様いかがでしょうかこのあたり、また他の点でも結構ですが、いかがでしょうか。 ですので、先ほど13ページの令和8年予算のところ、右端の行で収益的支出のところで流域維持の管理の負担金というものが、一旦下がったこともあるけども増加傾向にあるというご説明でしたので、それはどういうことかという、最後、5億飛んで500万円という、この金額と一番下の特別利益、往って来いになっているということでしょうから、差し引きしてもね4億9,400万円ということでやっぱり令和7年とか令和6年よりもですね、多額の負担が予想されてそしてこれが、非常に決算の方で、中の努力といいましょうか経営努力で何とかなる話でない、非常に微妙なものだということをですね、今日のご説明から理解できたかなと私は思っております。 皆様いかがでしょうか。 他の点でも構いませんが何かございましたはい、●●委員さん、どうぞ。
委員	流域維持負担金が、これ大阪府さんが言ってきていて、増加傾向になってこれ令和8年度も大変ですけど、9年度10年度も大変やと言うふうに思いますんで、交渉の方ですね、お願いいたしたいなというふうに思います。 あと僕ちょっと1個だけ教えていただきたいというか、質問というのはそうなんですけど、P3ページのこの3条予算の収益的収支のところ他会計繰入金っていうのがあつてこれ一般会計からの繰入金だと思うんですけど、この2億3,500万のうち、基準外でどれぐらいあるんですか。
事務局	お答えさせていただきます。 当市の方は今のところですね基準内だけでいただいている形になりますんで、基準外は想定してない状況です。
委員	令和7年度決算でも基準外はなかったということですか。
事務局	基準外はなかったというふうな形になります。
委員	ありがとうございます。

川原会長	ありがとうございます。 この今のご説明は、要は下水道の会計のそのルールに沿った処理を適切に行っていたいただいているというふうな理解でよろしいかなと思います。 他に何かありましたらお願いいたします。 やっぱり気になる場所申しますと 11 ページですね、この企業債の残高、これが事業の規模との関係でどういう比率になるのかと。 それがよその団体と比べるとどれぐらいのレベルがいいのかというところをお示しいたきまして、今日の説明から減少傾向にあるということがですね、理解できましたので、この点は少しほっとしている部分ではあります。 また、企業債をどんどん発行しているような状態ではなくて、非常にその辺りも工事とのバランスを考えながら、マネジメントをですね、よく慎重に進められているような様子もうかがえる次第です。 ただ、やはり今日のご説明がありました、国費等、というご説明で国庫のその補助金がなかなかえられないがために、その工事が前年もですね、できなかった部分があったと。 これはちょっと本当に計画がずれてくるということでは大変なことだと思います。 ですので、粛々とか縮小によるであればよいかということではなくてやはり計画的に、やっていただく工事はやっていただくということもですね、引き続きあって良いかなというふうに思っております。 工事の関係なんかも、いかがでしょうか。
熊谷副会長	ちょっとご質問なんですけど、今の国庫のお話だと国からのお金がいただけないので工事止まっていたということなんですけど、さっきのストックマネジメントの計画の範囲内ではまだそれほど大きな影響はないという理解でいいですか。
事務局	ストックマネジメント計画に基づいて、主にですね四條畷市で管渠の改築工事、ポンプ場についてもですね、一部沈砂池の防食とか、そういったところも控えているところと、かつですね耐震の事業についても、ポンプ場に関してはですね、耐震診断が終わっておりますので、控えているところなんですけど、やはりそのあたり、国庫補助金の影響ですべてができていないわけではないという認識です。 なので今後、補助金の補助率を見ながらですね、今やろうと思っていた事業ができなかった、 そういったところの計画の組み直しというのは検討していきなさいかなと思います。
熊谷副会長	ありがとうございます。

	ストックマネジメントの1つ特徴が、平準化ですよ。 ですからある意味そこにうまくなじませていくってところが多分改編で必要なかなと思いますんでその範囲内で収まればいいかなという感じがしますがそれがちょっと厳しくなってくると本当にあれですね、根本的に何か考え直さなきゃいけないかもしれませんね。 はいありがとうございました。
川原会長	ありがとうございます。 お願いします。
委員	これ国の補助金は、今ちょっと基準が厳しくなっているんですか、どんどん。
事務局	はい国庫の内示率の推移なんですけれども、市町村、大阪府内の状況におきましても令和7年度に比べて令和8年度というところで内示率は良くない、厳しい状況が傾向となっております。 またそれに加えて、都道府県のほうは内示率が市町村よりさらに悪いような傾向となっております。 都道府県の内示率が悪いということは回り回って流域負担金として市町村に今度課せられる負担金が上がるというところで、どちらにしても市にはいいような状況ではないというところです。 また、それに加えて国費の内示率も悪いんですけれども国庫の対象となる要件につきましても、年々ですね厳しくなっております、例えば水の官民連携であったりですとか、計画的なロードマップに従った使用料の改定なんかそういったものも適切に行ったものについてというところの情報なんかも聞いておりますので、その辺りについてもちょっと本市にとっては厳しい状況かなというふうに考えているところです。
委員	今年の予算では。
事務局	今年についても予算通りの内示はいただけないような状況ですので、今後の例えば補正予算とかがありましたらそういったタイミングでまた追加の予算なんかが配分されるように動きたいなというふうには考えているところです。
川原会長	ありがとうございます。 他にございませんでしょうか。 ないようでありましたら、それでは、そうですね、これも感想というか意見になるんですが6ページのところで、決算状況ということで、やはり経営戦略とですね、やはりその進捗状況を比較していただいてまた、前年度の比較も

委員	していただいて、そのご説明をいただいているというようなことで、やはりこういうモニタリングを見るといいでしょうか、経営戦略に基づいて、こういうふうに情報をですね見直してみると、また決算の数字を認め見直してみるとというようなことというのは非常に効果的であるなというふうに改めて思いました。 そういう面ではですね引き続き今後の使用料改定という話においてもですね、やはり経営戦略での考え方を踏襲しつつですね今後も進めていって、良いんじゃないかなと、私はそのように思っている次第でございます。 委員の皆様の方はいかがでしょうか。 不確実な要素としましては他に予算のところでもお話いろいろしていただいたんですが、昨今の世界情勢、それからいろいろな物価高騰インフレの状況、円安の状況をいろんな不確実な要素があるためにですねなかなか予断を許さないなということは思うわけですがけれども、この中でもですね事業を継続的に持続可能にするということですね、1つはやはり目的目標を置いて進めていくということでは、これはお話を皆さんでもう少し次回以降でもですね進めていければと思っております。 よろしくご協力をお願いしたいところでございます。 最後になりますが他に何かご意見、よろしいでしょうか。 お願いします。 ちょっとわからないんですけどね、この下水道使用料っていうのは、水道の使用料からの計算だと思うんですね。 水道水っていうのは、節水節水とずっと言い続けている。 でも下水道については、使用料をアップしたいって言っている。 何か反対のことやってないのかなと思うんですけど、そういう中で、流域維持管理負担金っていうのの中に、中身はちょっと知らないんですけど、処理費というものも含まれるのではないかな、増えていくと高く取られてっていう形になってくるのかなと。 水道使わんといつて言うて、減らしている中で、どうしても下水道使用料上がっていかないので、逆に人口割合でどれだけ減ったというようなものを出して、やっぱりなんて言うんですか、水道使用料というか、減らしている部分で何か償還していただけないかとか、なんかそんないろんな話を持って行き方というのはないのかな。 どうしても人口が増えないと使用量が増えないみたいな形で、この中では書いているように見えているんですけど、でも一般の皆さんは水道をできるだけ使うのを減らそうっていう形をとっているはずなので、相反する部分があると思うんですね。 その辺をどうやっていくか何かできたらなという意見でございます。 川原会長 確かに私も素朴な疑問を持っております。
----	---

	同じくですね、どうしてこの負担金がですね、どんどん増加していくのかと。 そしてそれを市の下水道の当局の努力と、ちょっと違うところで起きている。 でも、交渉の余地があるということですから、交渉していただいて、なぜそういうふうに負担金が増加傾向を提示されること。 その時に交渉をもう少しできないかというような、委員の皆様からのお話かなというふうに理解しております。 もしですね、機会がありましたら、流域の方の説明はどういう説明なのかいうこともですね、何かご紹介いただけると少し納得感が増すんではないかと思えます。 請求されるだけ何でも払っているわけじゃなくて、交渉もしていて、他の市の状況もありましようけれども、このインフラに係る負担金ということで、本当に他のこともですねいろいろ費用がかかってきているのかなあと想像はできないこともないんですけれども、また機会ありましたらそういうことをこの会でですね、今皆さん素朴に疑問を持っておられると思いますので、またご説明いただければと思います。 よろしくお願いいたします。 他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。 よろしいでしょうか。 それではないようでございましたら、これで予定されていた議事を終了させていただきます。 円滑な議事の進行に委員の皆様、事務局、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。 それではこれで司会を事務局にお返しいたします。
7 閉 会	
事務局	ありがとうございます。 本日は委員の皆様から多数の貴重なご意見いただきまして本当にありがとうございました。 本日いただきましたご意見をですね、取りまとめ整理させていただきまして次回以降の審議会の方に活かさせていただきたいと思えます。 改めまして、本日はどうも、ありがとうございました。 -事務連絡- それでは最後にですね、都市整備部長の足立より、閉会のごあいさつを申し上げます。
足立部長	皆様、お疲れ様でした。 慎重なご審議ありがとうございました。 閉会にあたりまして一言お礼のごあいさつを申し上げます。

事務局	会長はじめ委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきお時間いただき誠にありがとうございます。 また本市の下水道事業及び会計の状況、こちらにつきましてご審議いただきましてありがとうございました。 先ほどスケジュールもありました、第2回以降につきましても引き続き、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げたいと思います。 また9月下旬となりますがまだまだ少し暑い時期が続いております。 その中でも十分ご自愛いただき、皆様にご活躍されますことをお祈りいたしまして簡単ではございますが、お礼のごあいさつとさせていただきます。 本日は、誠にありがとうございました。 以上をもちまして第1回の審議会を終了させていただきます。 ありがとうございました。
-----	--